

学校教育教員養成課程(中学校教育専攻) 技術・工業コース

実践的・体験的な活動を通して、ものづくりなどの
様々な技術の見方・考え方を指導できる教師を
一緒に目指します。

4年間の履修イメージ(工業)

<p>附属学校園以外の教育現場についても知見を得て、副免実習や卒業研究にも挑戦し、教育・研究スキルの幅を拡張</p>	<p>副免実習、 教職実践インターンシップ、 STEAM・創造性P [推奨]</p>	<p>4年</p>
<p>発展的な工業系科目を学び、工業科の指導方法の開発に生かす。また、PBL学習を通してSTEAM教育の基礎を学ぶ。</p>	<p>工業電気、工業機械、工業情報、物性科学、工業有機化学、機器分析 工業科指導法開発Ⅰ 教育実習Ⅲ(主免実習)、 STEAM・創造性P[推奨]</p>	<p>卒業研究 3年</p>
<p>工業系科目の習得</p>	<p>工業科内容論(木材加工・金属加工・栽培・電気・機械・情報・木材加工演習、電気応用、機械演習、情報技術) 工業科指導法Ⅰ・Ⅱ、工業概論、職業指導概説、 教育実習Ⅰ、STEAM・創造性P[推奨]</p>	<p>2年</p>
<p>創造、指導法に触れる</p>	<p>中等技術科指導法基礎、STEAM・創造性P[推奨]、教育実習Ⅰ</p>	<p>1年</p>

R5年度に「工業」を希望する学生が入学した場合、R5年度から上図のようなカリキュラムが適用されます。R5年度の「技術・工業」の入試は総合型選抜のみです。

なお、R6年度入学者選抜(R5年度実施)は総合型選抜が廃止となり、「技術」の入試には(学校推薦型選抜Ⅱ)が適用され、「工業」の入試では(学校推薦型選抜Ⅰ)が実施されます。

入試の詳細は本学のHP(入試情報)からご確認下さい。

学校教育教員養成課程(中学校教育専攻) ～学びの概略 主に工業コース～



物性科学

電気・電子回路素子は様々な材料から作られており、材料の特性は回路素子の性能に影響します。電気・電子材料の構造や性質をミクロな視点で理解し、工業高等学校の教員として必要とされる各種材料に関する知識を習得します。



工業電気

過渡現象回路、増幅回路、変復調回路など、日常生活で使用されている電気回路を取り上げ、それらの基本原理、利用方法、具体的回路構成、動作のしくみ、物理特性などについて学習します。



工業情報

工業高等学校の中で、情報学に関わる内容、すなわち、工業情報数理、プログラミング技術、ハードウェア技術、ソフトウェア技術、コンピュータシステム技術に関して、主体的な課題解決活動を通して理解を深めます。

さらに!

工業科指導法&
指導法開発

工業科の授業開発の基本的な考え方と方法を学び、プロトタイプ教材等を開発し、さらに、マイクロティーチングの実践と省察により、工業科での授業力を身に付けます。

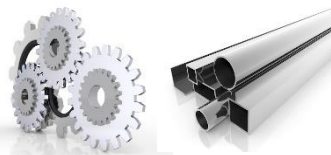


職業指導概説

職業指導の歴史や背景を学び、またその必要性や意義を理解した上で、社会の変化に対応した職業指導の在り方を考え、適切な職業指導法を身に付けます。



プログラミングとサーボモーターで空間制御



工業機械

工業高等学校機械科の教科内容や機械加工、機械設計領域の教材について、機械工学の視点から学習指導要領や教科書を分析・考察し、教材研究の方法を学修します。

高度な授業実践力を有し、柔軟な生徒指導や適切な職業指導ができる「貴重」な工業科の教員を、ともに目指します。スタッフ一同、心よりお待ちしております。